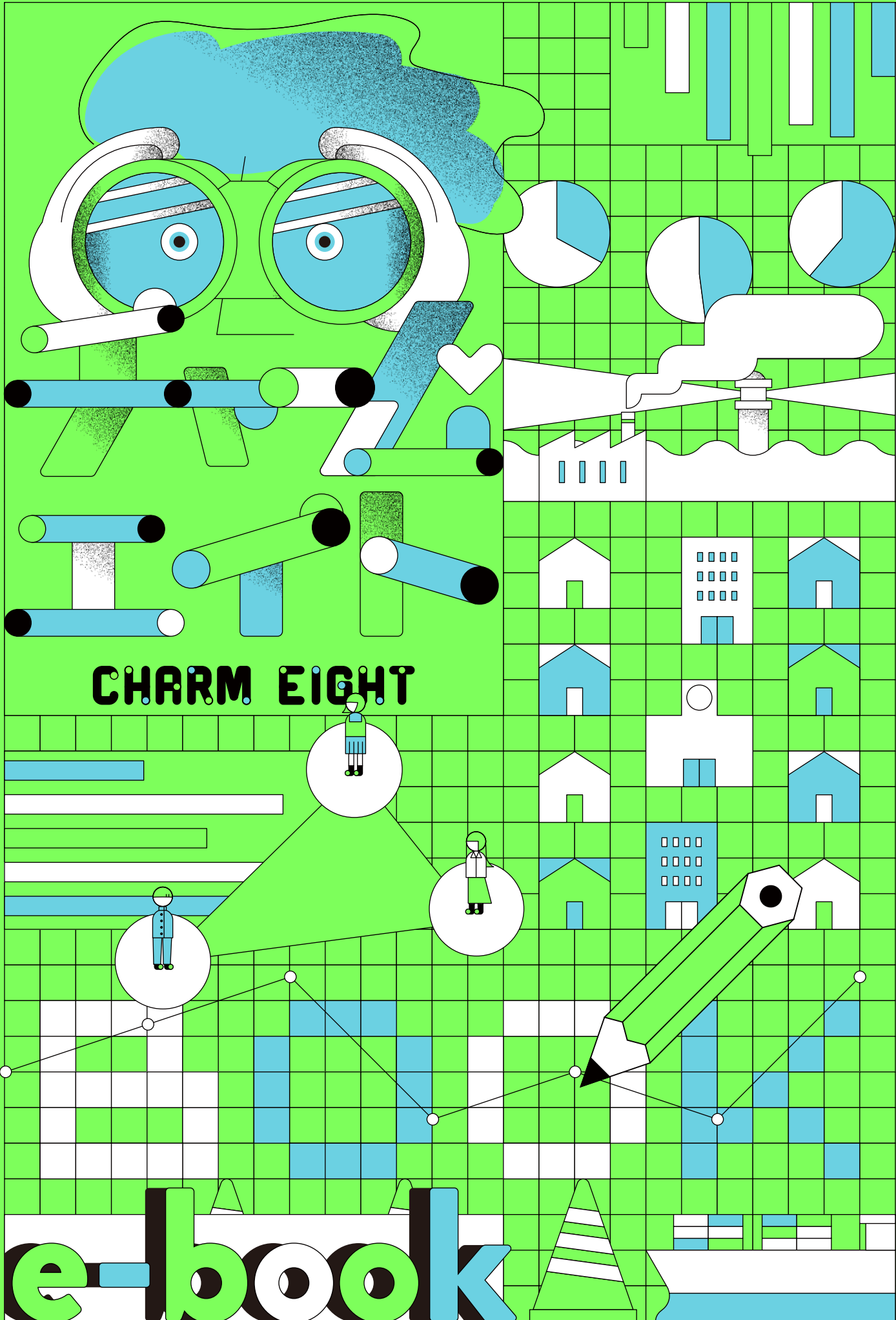
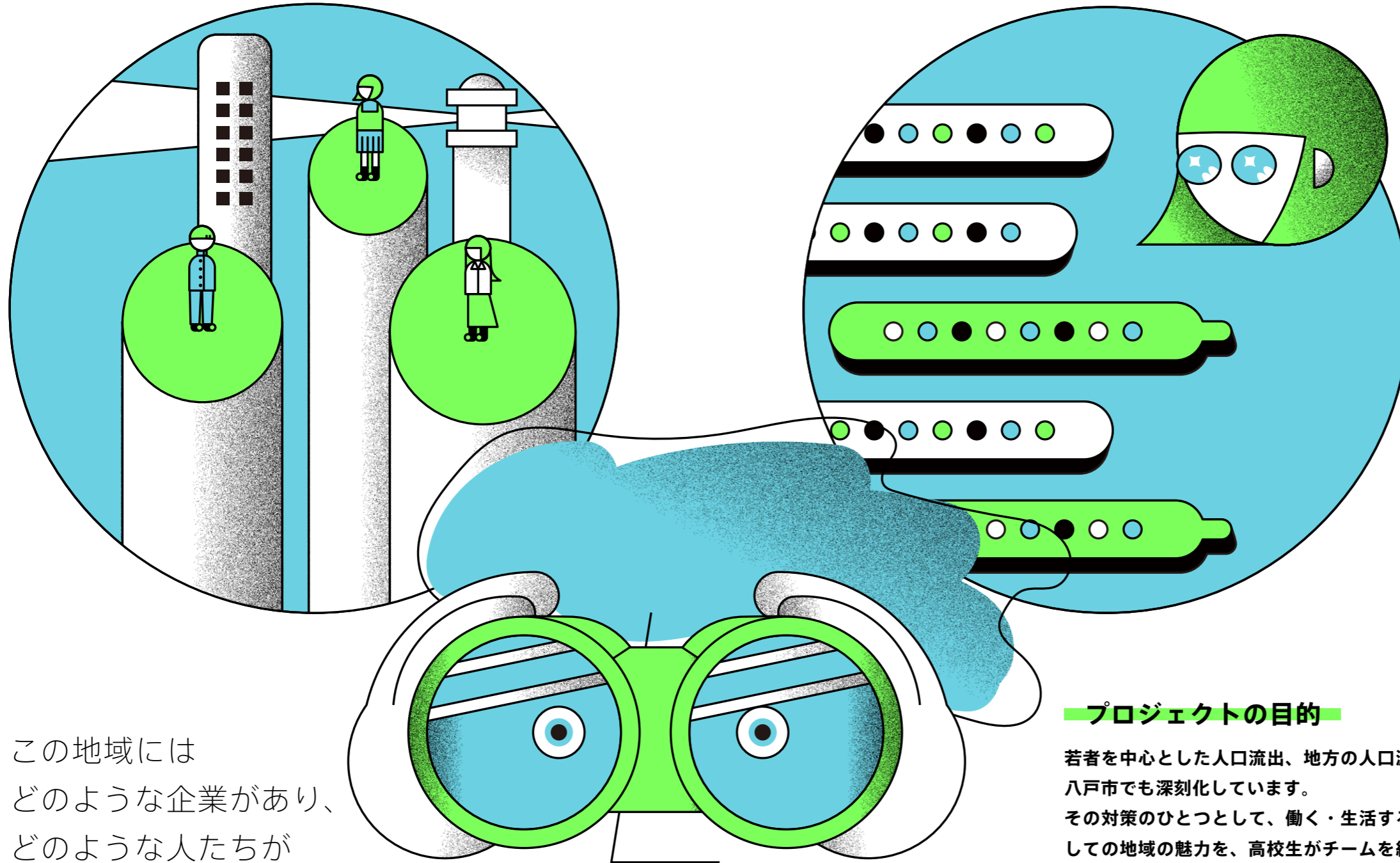


私たちがしらべて、見つけた地域の魅力。



CHARM EIGHT

e-book



この地域には
 どのような企業があり、
 どのような人たちが
 働いているか知っていますか？
 就職や進学をきっかけに地元を離れる。
 それは一人ひとりの人生にとって
 重要な分岐点ですが、
 地元のことを知らずに決断してはもったいない！
 あなたの視点を調査に活かし、
 気付いた魅力を発信しましょう。
 若者が住みやすい地域のヒントが見えるはずです。

プロジェクトの目的

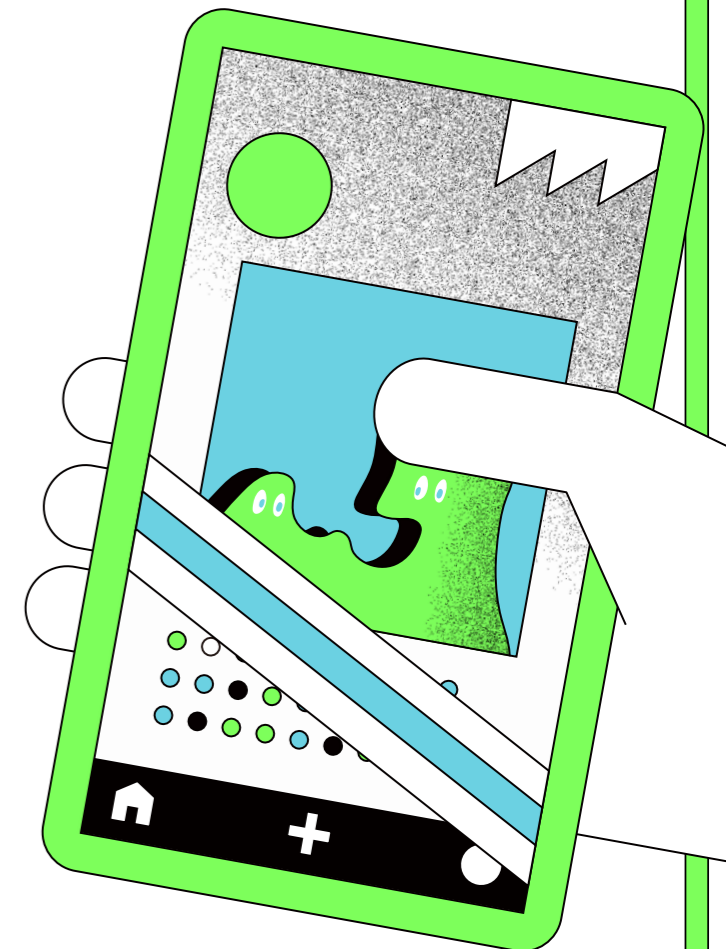
若者を中心とした人口流出、地方の人口減少は八戸市でも深刻化しています。その対策のひとつとして、働く・生活する場としての地域の魅力を、高校生がチームを組んで調査・発信していく事業「チャーム∞(エイト)」が始動します。高校生の若い目線を活かした取材で得た地域の魅力は、八戸市をはじめ全国へ向けて発信し、共有されることで地域への人材定着や地域振興につなげることを目指します。

活動内容

高校生で構成するグループが、事前の勉強会などで取材スキルを学び、企業への取材を通じて地域の魅力としてまとめ、イベントや各種発信ツールを使って広く発信します。

INDEX

04	リポーター紹介
06	株式会社ユニバース
08	プライフーズ株式会社
10	株式会社旭光通信システム
12	有限会社八戸重工商事
14	株式会社ライトカフェ U.
16	株式会社宝幸 八戸工場
18	社会福祉法人徳望会 特別養護老人ホーム見心園
20	株式会社吉田産業 八戸支店
22	株式会社サンデー
24	株式会社共同物流サービス
26	株式会社アイティークレスト
28	株式会社ハチカン
30	株式会社金入
32	北辰工業株式会社
34	株式会社よこまち
36	桜総業株式会社
38	事業レポート



team:

ワンフィフ

school: 青森県立八戸高等学校

member: 澤里初花・石田響・泉あかり

身長平均150cm台、演劇部のポケ担当!!3人寄れば文殊のポケ!!くだらないことでもすぐにインスタに載せる階上町のいちか、カラオケでAdoしか歌わない三沢市のあかり、スマホの写真フォルダが初花の美麗写真でいっぱい八戸市のひびきが集結した愉快的なチームです。楽しく取材しました。



team:

バイキンマン

school: 八戸聖ウルスラ学院高等学校

member: 門前志野・岡山風沙
大國亜実・川下凜乃

おしとやかだけれど、やるときはやる!負けず嫌いなウルスラの4人組。頼れる生徒会副会長の門前志野、音楽を愛し音楽に愛されている岡山風沙、ゲームも球技も大好きな大國亜実、アボカドとパク・ソジュンが大好きな川下凜乃。クラスは違っても心を一にし、地元の魅力を伝えます。



team:

HACHI'S ACTIVATORS

school: 青森県立八戸高等学校

member: 佐々木紅葉・橋祈愛・遠藤勇護

八高演劇部1年の顕著なヲタク×3です。普段はバカばかりやっていますが、チーム名は割と真面目です。アクティベーターズは役者である私たちがどうしても入れたかったアクトと「活性化させる」という意味のアクティベイトからとっています。八戸の魅力を惜しみなく発信しようと思います!



team:

さなぎ

school: 青森県立八戸東高等学校

member: 秋山侑輝・鈴木球愛進・川守田桂寿

チーム名はこれから羽ばたいていくという意味を込めて「さなぎ」にしました。僕達は全員小・中学校で野球部だったので元気とやる気だけはどこにも負けない自信があります。今回の活動で八戸の魅力を様々な方々から教えていただき、それを周りの人々に発信していきたいと思っています。



team:

箱入り息子

school: 八戸聖ウルスラ学院高等学校

member: 工藤那月・坂下啓仁
谷川翔大・頭久保幸太郎

青森県産の高校生3人+1匹です。南部せんべいで育った那月、ダンステニス布教中の啓仁、情に厚いベーシスト翔大、薫香(オーラ)漂う一般ギタリスト幸太郎の3人+1匹です。この異端児たちで八戸の魅力、企業と地域の関わりを調査していきます。俺たちが八戸を変える存在になるぞぉ♡



team:

阿部ンジャーズ

school: 八戸工業大学第二高等学校

member: 加藤璃玖・阿部蒼大・戸田颯太

リーダーの名前が阿部であり、語呂がいいからという理由から「阿部ンジャーズ」になりました。そんな阿部ンジャーズのイカしたメンバーを紹介するぜ!頼れるリーダー阿部蒼大、いつも明るいムードメーカー戸田颯太、作曲ができる加藤璃玖。こんなメンバーで八戸の魅力を沢山紹介していきます!





企業の魅力

Q. この仕事を選んだ理由は？

A. 就職について考えた時に軸となったのが「地域活性化」でした。地方に住む人が幸せに暮らすためには何ができるだろうと考えていたところ、「おいしいものを食べると幸せになれる」「働いてハッピーになれる職場をつくりたい」と思いました。これを達成するには、スーパーが一番良いのではないかと、という考えに至りました。ユニバースを選んだのは、渋谷で開かれた説明会で1番興味を持ったからです。また、品ぞろえや店づくりを見て「ここで買い物したい！」と感じ、就職したいと思いました。

Q. スーパーの仕事の面白いところを教えてください。

A. 新入社員の頃におにぎりを作る仕事を任せられたことがあります。その時、ひいき目無しにユニバースのおにぎりがおいしいことに気付きました。そこで、普段の1.5倍おにぎりを売る計画を立てました。種類や時間帯ごとの売り上げデータを基に仮説を立て、「売り場や売り方を時間帯で変える」「売

る種類を絞る」などに取り組みました。すると、思惑通りに売り上げが伸び、「なんて面白いだろう」と思いました。ほかに、工夫して売り場を目立たせ、お客様の手に取ってもらえるようにすることが好きで、面白さを感じていました。

Q. この仕事をやってきて身についた自慢できることや職業病のようなものはありますか？

A. 自慢できることは、目の前の人をさっと手伝えることです。困っている人がいると自然と体が動きます。加えて、子どもの手助けもできるようになり、自分の育児などにも生かされています。職業病は、ユニバース以外のスーパーや地域ごとのスーパーを見てしまうことです。偵察という感じではなく、元々スーパーが好きで、「この商品の売り場をここに展開している」「商品の並べ方がきれいだな」などと考えてしまう、ということです。たまにそこから学びを得て仕事にも生かせるので、とても楽しいです。

八戸の魅力

Q. 八戸で住みやすいと思うポイントは？

A. まずは海、川、山など自然が豊かなところですね。食べ物がおいしく、海産物は特に新鮮です。そして、八戸の大き過ぎず、小さ過ぎない規模感が好きです。働き口も他地域に比べて多く、所得も比較的良好と感じます。とても住みやすい場所だなと感じています。

Q. 「八戸はこうなればもっと魅力的になる」と思うことは？

A. 私は一児の母ですが、子育てしにくい環境ではないものの、子育てに関する取り組みが少ないと感じています。もっとそこに目を向けてくれるとうれしいです。また、大型のショッピングセンターや、子どもが遊べるアミューズメント施設もあると楽しいと思います。

北東北屈指の食品スーパー 買い物しやすい店づくりを追求

株式会社ユニバース

北東北3県で食品スーパーを展開。従業員数4251人。経営理念は「Customers, our Priority. (私たちは、いつでもどこでも顧客最優先)」。顧客という英単語は、習慣的にユニバースを利用していただいているお客様へのサービスを充実させていく、という思いを込めて「Customers」を使っています。具体的には①鮮度管理の徹底②豊かな消費生活の実現③利用しやすい店づくり等に取り組んでいます。

取材した人 三本木優希さん 入社7年目



栃木県那須塩原市出身。人事教育部人材開発グループで、高校生や大学生の採用、会社のルールや仕組み、制度をつくらせて実施するといった業務に携わっています。一児の母として子育てにも奮闘中です。

company profile :



業種 小売業
設立 1967(昭和42)年
住所 青森県八戸市長苗代前田83-1



取材してみた 青森県立八戸高校 team: ワンフィフ 澤里初花・石田響・泉あかり



石田響: 私の家庭に身近なユニバースですが、お客さんが手に取りやすいように商品をきれいに並べているところを初めて見て、裏での工夫が買い物をスムーズにさせているのだと思いました。また、多くの商品を取り扱い、お客さんのニーズに応えようとする姿勢がとても伝わりました。

澤里初花: いつもユニバースを利用していますが、意識して見てみると、シーズンごとに売り場を変えたり、鮮度管理をボードで宣言したりなど工夫が気づくことができました。この活動を通して普段と違う視点から八戸について考え、新たな魅力に気づくことができました。

泉あかり: 日常生活に必要なものを多く置いているユニバースだからこそ、細心の注意を払い、お客さんのニーズに応えようとしていることがわかりました。また、生活にとっても身近にあるお店だからこそ、表に見えることだけでなく、裏での努力がとても大切だということに気づきました。



鶏の飼育から販売まで一貫体制構築 スポーツ通して地域貢献も

プライフーズ株式会社

鶏の飼育から、処理、加工、販売まで一貫体制で行っています。全国のスーパーのほか、ケンタッキーフライドチキンや流通大手のイオンなどへ鶏肉や加工品を出荷。「食の未来に新たな価値を創造する」の経営理念のもと、消費者のニーズに合った商品を提供するため、八戸の本社を中心に全国に農場や工場、営業所を展開。従業員数は約3600人。

取材した人 椿原綾香さん 勤続7年 成田啓菜さん 勤続3年



椿原さんは階上町出身。生産本部のCS管理部主任を務めています。鶏を健康な状態で保ち、大きく育てるために生産者と相談しながら仕事をしています。成田さんの出身地は弘前市。人事総務部人事グループで、採用や新入社員研修などを担っています。

company profile :



業種 食料品製造・販売、
食鳥処理機械販売
設立 1965(昭和40)年
住所 八戸市北白山台2丁目6-30



企業の魅力

Q.この仕事を選んだ理由は？

A.椿原さん 地元の企業であることと、大学で学んだことを生かせると思い入社しました。プライフーズは、鶏の飼育から出荷まで一貫体制で行うシステムを構築しています。そのため、多種多様な仕事を学べるのも魅力に感じました。選択肢が多いので、さまざまなことに挑戦できると思いました。実際、仕事でたくさんの人と関わることができています。

Q.業務の他に、住民とどのように関わっている？

A.成田さん うみねこマラソンや八戸三社大祭、青森ねぶた祭などの行事に参加しており、地元の人と深く関わっています。地域スポーツにも応援していて、レスリングやフットサルなどの大会に協賛しています。プロスポーツではヴァンラーレ八戸や東北フリーブレイズ、青森ワッツをサポートしています。このように、多くのスポーツ大会への協賛などで地元へ貢献しています。

八戸の魅力

Q.八戸で住みやすいと思うポイントは？

A.椿原さん 交通の便が良く、周りの地域に遊びに行ったり、買い物に行ったりするのが便利です。病院が整備されていることも住みやすい理由の一つです。夜間も開いている病院があり、安心して生活できます。子ども向けの施設は、子育て中の家庭にとって、とてもありがたいです。

Q.やりがいを感じるのはどんな時？

A.椿原さん より良い方法を考え、課題を改善できた時です。特に、生産者さんと互いに助け合って何か目標を達成できた時はうれしいです。また、仕事を通して、これまで学んだことのない知識を新たに身に付け、自分の成長を感じることがあります。最近は世界情勢や、為替の動きなどを見ることも増えました。

A.成田さん 新入社員が頑張って仕事をして成長しているところを見ると、やりがいを感じます。また、プライフーズの商品のおいしさをお客さまに実感してもらった時も、やっていて良かったなと思います。



Q.お気に入りスポットは？

どうすれば八戸はもっと良くなる？

A.成田さん 海によく行きます。種差海岸は静かで、とても景色がきれいなので、息抜きに行く心が落ち着きます。
A.椿原さん 子どもと一緒に休日買い物によく行きます。ただ、行く場所が限られているので、若い人が遊べる施設をもっと整備することで人口の流出を防ぎ、より活気溢れる街になるとと思います。

取材してみた 青森県立八戸高校 team: ワンフィフ 澤里初花・石田響・泉あかり



澤里初花: CMなどで社名は知っていましたが、卵から一貫して生産しているとは知りませんでした。始めから終わりまで責任を持っていて信頼できる会社だと思っています。実際に、プライフーズで作られたお肉はとてもおいしかったです。なので、もっと沢山の人が知ってもらいたいなと思いました。

石田響: 一貫体制で鶏を生産し、加工まで行うことで、質の高い、おいしい食品を製造できていることが分かりました。また、スポーツチームのスポンサーになるなど地域に根差した活動を行っており、八戸と密接に関わっていることが分かってとても良い会社だと思いました。

泉あかり: ひよこを卵から孵すところから一貫体制で行っていることが分かり、とても驚きました。安心安全の商品を届けるために一人一人が丁寧に作業している様子を見ることができて、一つの商品でもたくさんの人が関わっているのだと認識することができました。



鉄道や道路の通信機器を生産 社内の雰囲気は和気あいあい

旭光通信システム 株式会社 八戸事業所

鉄道や道路に必要な通信機器・信号機器の開発、設計、板金加工、組立、検査・試験、搬入、メンテナンスまで独自技術で一貫して行っています。事業は鉄道通信、鉄道信号、道路通信の3領域で展開。従業員数は89人。川崎市に本社が、札幌市、大阪市に営業所があり、工場機能があるのは八戸のみ。経営理念は「独自の技術と優れた人材が育つ環境の中で、人も企業も一流を指向し、豊かな社会の創造に貢献する」。

取材した人 山本賢司さん 勤続7年 長岡蓮さん 勤続4年



山本さんは技術部回路設計グループ所属。十和田市出身。青森県立十和田工業高卒業後、旭光通信システムに就職。長岡さんは生産管理部板金課に所属。八戸市出身、県立八戸水産高卒業。専門学校を経て美容師を経験した後、手先の器用さを生かしたいと思い同社へ転職。

company profile :



業種 製造業
設立 1946(昭和21)年
住所 八戸市北インター工業団地
1-3-35



企業の魅力

Q.会社にとって、八戸に立地したメリットは？

A.田鎖雅永さん 旭光通信システムが八戸に進出する前、川崎市の本社では青森県出身の従業員が多く働いていて、彼らの中には地元へのUターンを希望する人もいました。ちょうど工場の拡張が必要になってきた時期でもあり、当時の社長が、東北の人が持っている優しさや真面目さ、誠実さが製品に表れるだろうと思い、サービス向上を目指して八戸に進出したそうです。

Q.八戸地域の住民とどのような形で関わっている？

A.長岡さん 自社の製品を通して人助けができています。例えば、高速道路の入口にあるETCで問題が発生した時、インターホンを使って対応できます。あまりお世話にならない物ですが、どうしよう…となった時に助けてくれる、ないと困る通信機器を作っているの、「縁の下の力持ち」のような存在として、八戸地域の住民だけでなく、全国の人を支

えています。自分たちが意見を出して考えた製品が実際に全国で使われているのを見ると、仕事のやりがいやうれしさを感じ、モチベーションのアップにつながっています。

Q.職業病は？

A.山本さん 服屋に行って小さなバッグを見ると「この工具入りそう…」と思います。

A.長岡さん 机などを見ると「こんな風に加工したり溶接したりしているのかな」と観察してしまいます。

A.小室颯太さん 営業部時代、電車に乗って広告などで色々な機器を見る度に「どのメーカー？いつ作られた？自分だったらいくらで売ろうか？」と考えていました。

A.田鎖さん 会合などで他社の方と会ってお話する機会があります。いろいろ情報交換する中で、自社のみでなく他社の経営の問題点を見つけて当てることが好きです。

総務課・小室颯太さん(右)
総務課・田鎖雅永さん(左)



八戸の魅力

Q.八戸で住みやすいと思うポイントは？

A.山本さん 青森県内なのに雪が少なく、過ごしやすい気候だと思います。また、三沢空港や八戸駅が近くにあるため、遠くに行きたい時に便利です。

Q.「八戸はこうなればもっと魅力的になる」と思うことは？

A.山本さん 今でも交通面は充実していると思いますが、さらに整備されれば八戸の魅力も多くの人に伝えることができると思います。

A.長岡さん 子どもが遊ぶ場所や、自然と触れ合える場所が少ないと感じます。アスレチックやキャンプ場があれば他県からも人がたくさん来ると思います。

取材してみた 青森県立八戸高校 team: ワンフィフ 澤里初花・石田響・泉あかり



澤里初花: 一つの物を完成させるにあたって、社員さん一人一人が重要な役割を果たしていることが分かりました。旭光通信システムが導入しているバッジの制度を私の部活にも導入したいと思いました。面白く楽しく仕事ができる会社で魅力的だと思います。

石田響: いざという時に必要な物を作っている縁の下の力持ちの会社だと思いました。和気あいあいとした雰囲気、素敵な会社でした。それぞれ仕事にプライドを持って働く姿がかっこよく、自分にはできないなと思うような細かい作業もしていて、見学できてとても良い体験になりました。

泉あかり: トラブル発生時など、いざという時に確実に必要な製品を作っており、一つ一つの工程に関わる方々が丁寧な仕事をされているからこそ、緊急事態にも対応できる製品を作れることがよく分かりました。また、雰囲気も温かく、とても明るい会社だと思いました。



建設機械部品、 油圧ホースからユニフォームまで 多種多様な商品を扱う総合商社

有限会社 八戸重工商事

建設業、土木業、農業、林業などで使用される、働く機械の消耗部品の販売や、建設機械などに使われている油圧ホースの交換・修理などを行う総合商社です。機械消耗部品をメインに扱う営業部のほか、今回取材させていただいたリペア事業部、八戸圏域に商品を届ける配送部、会社で着用する制服の販売やデザイン、加工などを一貫して行う制服部、在庫や売上の管理などを行う総務部、全国に向けネット販売をするEC事業部など、多様な社員が働いています。

取材した人

高谷利明さん 勤続7年 清水克博さん 勤続7年
工藤拓也さん 勤続6年



高谷さんは五戸町、清水さんは八戸市、工藤さんは南部町出身です。3人ともリペア事業部所属で、自動車などに使われている油圧ホースの交換、出張修理などを行っています。今回はお仕事の都合で取材できませんでしたが、むつ市にも出張所があり、リペア事業部副リーダーの葛野さんが活躍しています。



むつ市出身
葛野裕樹さん 勤続5年

company profile :



業種 総合商社
設立 1964 (昭和39)年
住所 八戸市沼館2丁目3-14

企業の魅力

Q.会社の雰囲気は？

A. 高谷さん この会社は「挑戦」を経営理念としています。社会の発展に伴って必要とされない物が増えてくるため、一つのことにとどまるのではなく、クリエイティブな視点でさまざまなことに挑戦していきたいという社長の考えがベースにあります。また、会社という一つのチームで前に進んでいくために、社長室がなかったり、ワーキングスペースをきれいなデザインにしたり、音楽をかけたり、社長が直接社員の話を聞いたりするなどの工夫で、アットホームな職場づくりがなされています。それゆえ、社長の人柄に引かれて入社したという人も少なくないです。



八戸の魅力

Q.八戸で住みやすいと思うポイントは？

A. 清水さん ほかの地域と比べて降雪量が少なく、年間を通して気候が安定しているので過ごしやすいです。また、極端な災害も少なく、あったとしても災害対策がきちんとしています。人口が少ないというのはネガティブな点ではありますが、そのおかげか渋滞が少ないというのも住みやすいところだと思います。

Q.「八戸はこうなればもっと魅力的になる」と思うことは？

A. 高谷さん 年々人口が減少していて、その中でも地元を離れていく若者が増加しています。これを防ぐためには、若者が好むスタイリッシュなデザインを建造物に取り入れるなど、若い人々を取り込むことができるまちづくりをすることが必要だと思います。



取材してみた 青森県立八戸高校 team : HACHI'S ACTIVATORS 佐々木紅葉・橋折愛・遠藤勇護



橋折愛：名前から昔ながらの工場を想像していましたが、想像していたよりもずっとスタイリッシュなオフィスで驚きました。また、工業的な仕事の他にも様々な課があり、幅広い分野で仕事をしてらっしゃることに驚かされました。

遠藤勇護：企業名だけだと工業的なイメージがあった、最初は工場見学に行くのだと思っていましたが、実際にインタビューしたのはきれいなオフィスの中でした。また、油圧ホースの修理だけではなく、ユニフォームや営業など多様な部署もあることに驚きました。



Uターンやシルバー人材活用し クラウドサービスなどを展開

株式会社ライトカフェU.

八戸市、むつ市と立地基本協定を結び、クラウドサービスの構築・運用やシルバー人材によるAIアプリケーション業務やAIツールを活用した校閲サービスなどを展開しています。シルバー人材に仕事のやり方を教えているのは、地元に住んでいたたり、Uターンをしたりしてきた若手社員たちです。東北エリア全域の人材活用に取り組んでいます。

取材した人

小林弘志さん 勤続14年 渡邊莉乃さん 勤続2年
中堤彩歌さん 勤続2年



小林さんは愛知県出身で、シルバー人材を活用した業務の統括・管理を行っています。渡邊さんは青森市出身、中堤さんは三戸町出身で、2人ともシルバー人材を活用したAIアプリケーション・QA(Quality Assurance=品質保証)業務を行っています。

company profile :



業種 クラウドサービス運用
設立 2023(令和5)年
住所 八戸市十三日町1
ヴィアノヴァビル2階11号室



企業の魅力

Q. 事業と地域との関わりは？

A. 小林さん 高齢者が増えていることに着目して、パソコンを少し使えるのならばできるような簡単な業務をシルバー人材に任せています。退職後も働きたい地元の人たちや、Uターンや転職で入社した若手社員には、人材育成をしながらプログラミング業務を任せています。

Q. なぜ八戸に設立したのですか？

A. 小林さん グループ会社のライトカフェが、家庭の事情で東京から八戸に戻らなくてはならなくなった社員のため、八戸に事業所を構えたのが始まりです。コロナ禍で、IT系の多く

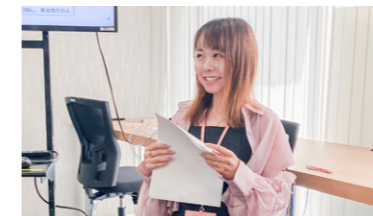
の会社はリモートで仕事ができるようになったので、地元で貢献したいという人や、他地域で働いていたけれど家庭の事情で八戸に戻ってきた人材を生かしています。

Q. この仕事のやりがいとは？

A. 渡邊さん たくさん抱えていた案件が着々となくなっていった時は達成感がありますし、シルバー人材の喜んでいる声を聞くとうれしいです。

A. 小林さん 採用した社員が成長していくことなどにやりがいを感じています。

A. 中堤さん IT系の会社ではありますが、事務的な作業だけではなく、シルバー人材の皆さんや社内のメンバーとの交流もあり、温かい雰囲気の職場です。



八戸の魅力

Q. 八戸の魅力は何ですか？

A. 小林さん 他の地域と比べて、八戸は降雪量が少ないと思います。また、人口が少ないというのはネガティブに捉えられがちですが、海や山といった自然も近く、静かに暮らしたい人にとっては住みやすいと思います。

Q. 「八戸はこうなればもっと魅力的になる」と思うことは？

A. 渡邊さん 八戸駅周辺は八戸の入口です。ショッピングセンターやカフェなどがあるといいですね。また、市内の公共交通機関がもっと便利になれば、さまざまな場所に積極的に出掛ける人が増えると思います。

取材してみた 青森県立八戸高校 team : HACHI'S ACTIVATORS 佐々木紅葉・橋折愛・遠藤勇護



橋折愛：八戸にIT系の会社なんてあるのか、と初めは驚きました。でも、コロナ禍を転機に地元で貢献したいという思いでここにオフィスを構えているのが素敵だと思います。IT系というと、ずっとパソコンに向かって1人で作業するイメージでしたが、いろいろな方との交流があることも意外でした。

遠藤勇護：IT系の企業なので、硬いイメージを想像していたのですが、人との関わりがあり、それに楽しさを感じられる企業だと思いました。コロナ禍で苦しむ企業が多い中、結果的にコロナでの変化を利用して、いい方向に向かっていったというのは驚きです。



地元で水揚げされた魚を中心に おいしい缶詰を製造

株式会社宝幸 八戸工場

「届けます。八戸から美味しさを」をコンセプトに、サバやイワシの缶詰を製造。以前は八戸で水揚げされたサバを中心に使っていましたが、近年は水揚げ量が減っているので、全国各地から原料を調達しています。また、燃料を重油から液化天然ガス使用のボイラーにすることでCO₂削減に取り組んでいるほか、太陽光パネルの設置、資源のリサイクルも行っています。

取材した人 春日愛希子さん 勤続8年



八戸市出身。品質保証課に所属し、工程検査に携わっています。

company profile :

HOKO

業種 製造業
設立 1946(昭和21年)
住所 八戸市市川町尻引前山
31-203

企業の魅力

Q.会社にとって、八戸に立地したメリットは？

A.八戸港が近いので、水揚げ直後の魚を市場から直接買い付けることができます。これにより鮮度を保ったまま加工することが可能です。

Qこの仕事を選んだ理由を教えてください

A.高校の時に水産関係の仕事に興味を持ちました。両親が漁業関係の地域に支持されている会社に勤めていたことがきっかけで入社しました。入ったばかりの時は分からないことだらけでしたが、徐々に慣れました。



八戸の魅力

Q.八戸で住みやすいと思うポイントは？

A.買い物面では、ショッピングモールが多くスーパーが点在していますし、蕪島や種差海岸など、海がきれいな場所もあります。また、小さい子どもが無料で遊べる場所が多いことも魅力的ですね。

Q.八戸のお気に入りのスポットは？

A.毎週日曜に、全国から3万人も来る館鼻岸壁朝市です。

Q.「八戸はこうなればもっと魅力的になる」と思うことは？

A.中心街の活性化が一番ですね。あと、子育て支援を充実させてほしいです。



取材してみた 青森県立八戸高校 team : HACHI'S ACTIVATORS 佐々木紅葉・橋折愛・遠藤勇護



遠藤勇護：食品工場に抱いていたイメージ通り、現場が機械で埋め尽くされていました。しかし、その背景には多くの失敗があって、その度にどうしたらいいかと思案して、現在の設備ができているということ聞いて、今までのとてつもなく長く、多くの努力を感じました。

橋折愛：厳しい衛生管理があるからこそ、私たちが安心して食べることができる食品ができていくのだな、とあらためて安全でおいしい食事をいただけることの素晴らしさを知りました。また、食品製造に携わる方のお話を直接聞くことで、食への感謝や食前の「いただきます」の言葉の大切さを実感することができました。



利用者との会話や地域交流が盛ん 「喜び」があふれる施設

社会福祉法人徳望会 特別養護老人ホーム見心園

「喜んでもらう喜び」を经营理念に掲げ、利用者さんのニーズに合わせた介護サービスを提供しています。従業員数は約130人。さまざまな職種の方たちが協力し合っています。地域との交流活動として、お祭りや青森県警音楽隊の演奏会、介護の出前講座、各種研修会も開催。利用者さんやご家族に喜んでもらうため、日々サービス向上に努めています。



3人も八戸市出身。西村さんはやすらぎ館の介護士、米田さんはくつろぎ館の介護士として利用者さんの生活全般のお手伝いをしています。久保田さんは見心園全体の管理部長として、利用者さんが利用しやすく、そして職員が働きやすい環境づくりに取り組んでいます。

取材した人

西村詩織さん 勤続15年 米田恵麻さん 勤続12年
久保田恭弘さん 勤続18年

company profile :



業種 高齢者介護
設立 1989(平成元)年
住所 階上町赤保内道仏道添21-12

企業の魅力

Q.仕事のやりがいを感じる時は？

A.西村さん 利用者さんとの日常の会話や触れ合いを通して、少しでも長く今の状態を維持できていると感じる時です。

A.米田さん 「ありがとう」の感謝の言葉を聞いたり、自分たちが何かをしたことで利用者さんが良い反応をしてくれたりした時です。

Q.今の担当業務の面白いところを教えてください。

A.西村さん 私はもともと人と関わることが好きで、誰とも仲良く話することができます。利用者さんたちとの会話の中で、さまざまな良い変化が見られるところがこの仕事の面白いところだと感じています。

A.米田さん 利用者さんと話をしていると、自分の知らないことをたくさん教えてくれて、それによって自分を成長させることができます。また、自分のしたことによって利用者さんが笑顔になると、嬉しい気持ちになれますね。

Q.地域の皆さんとどのように関わっていますか？

A.久保田さん 施設の祭りや子どもたちの訪問のなど、地域の皆さんと交流する機会がたくさんあります。施設について理解していただくとともに、利用者さんも笑顔になれるのがメリットです。また、近くの公民館、学校などに出向いて、介護についての出前授業を行い、地域に住む幅広い年代の皆さんと関わりを持っています。



八戸の魅力

Q.八戸で住みやすいと思うポイントは？

A.米田さん 子どもの医療費の助成が手厚いですし、病児保育などのサポート体制が充実しているのに加えて、子育てアプリの配信などもあるので安心して子育てをすることができます。また、保健師、助産師など専門職の方による相談体制が充実しています。豊かな自然の中で子育てできることがとても住みやすいです。

Q.八戸のお気に入りスポットは？

A.西村さん どの場所も自然の豊かさを感じられます。蕪島では海を眺めながら「いかこんにゃく」を食べたり、種差海岸ではペットと一緒に楽しんだりしています。八食センターでは新鮮な海の幸が手に入り、七厘村ですぐに食られるのも魅力的です。



取材してみた 八戸聖ウルスラ学院高等学校 team：箱入り息子 工藤那月・坂下啓仁・谷川翔大・頭久保幸太郎



谷川翔大：日々の生活であまり関わりのない、老人ホームへの訪問はとても充実したものでした。利用者の方々とも関わることが出来て素晴らしいことを体験出来ました。また、介護をする上で心がけていることや介護者がいることの大切さを学ぶことが出来ました。

頭久保幸太郎：久保田さんの仕事へのやりがいを伺っていた時、言葉の中に自分の仕事への誇りや入所者への愛情などが感じられました。私は将来久保田さんのような仕事への取り組み方が出来るように頑張りたいと思いました。

工藤那月：今回見心園さんを訪問してみて、雰囲気や場所の環境から利用者より密に接しながらお仕事をされていることがわかった。そして、施設のお祭りや学校への出前授業など利用者に加えて、地域とも密着していることが強く感じられた。

坂下啓仁：利用者への思いやりを見つめることができた。館内の雰囲気は和やかで、利用者の方々が集まって甲子園の中継を見ていたところが印象的だった。また、お風呂を体験して、自動で自分の力を必要とせず入浴できたり、人の力なしに立つことができる機械にも驚いた。



企業の魅力

Q. この仕事を選んだ理由は？

A. 山下さん 地元で働きたいと考え就職先を探している中、吉田産業は地元でさまざまな事業を展開していることに魅力を感じたからです。自分が建材を販売した建物を実際に見ると、お客さまの夢づくりの一員になれたと感じます。

A. 加藤さん 地域や人とのつながりが強く、さまざまな面で地域に貢献できると感じて入社しました。また、八戸の専門学校に通っていた頃に吉田産業でアルバイトをしていました。男女問わず生き生きと働いていたことが印象的で、雰囲気良かったので、この会社で働きたいと思い入社しました。

Q. 企業から見た八戸の魅力は？

A. 山下さん 八戸は海が近いので工業地帯が発展している一方、豊かな自然にも恵まれていますし、住宅地も多くあります。そのため仕事も多く、建材の販売先も多いです。雪の影響が少なく、交通網が整っているので、資材を生産地から運びやすいという利点もあります。



八戸の魅力

Q. 八戸で住みやすいと思うポイントは？

A. 加藤さん 医療機関がたくさんあるので、行きやすいところや自分にとって安心なところを選べますし、緊急事態の時も安心できます。さらに子どもへの医療費助成や手当などを通して、子育てを支援してくれるので助かっています。首都圏と比較して物価はさほど高くないのもいいですね。

Q. 「八戸はこうなればもっと魅力的になる」と思うことは？

A. 加藤さん 医療費を高校生まで無償にしてほしいです。そうすれば子どもを持つ人にとって、八戸に住むメリットが格段に上がると思います。また、現状、中心街に魅力がなく、行くメリットが感じられないので、人が集まるような商業施設や、学生たちが勉強できるスペースがあればいいと思います。

建材の販売や加工を通して地域の発展を支える

株式会社吉田産業 八戸支店

建材・建築・土木・鋼材・木材の5部門があり、住宅、ビルに使用する建材の販売・加工、公園の遊具、道路のブロックやガードレールの販売を手掛けています。東北5県と北海道函館市に支店があります。顧客は建設会社や工務店が中心ですが(BtoB)、八戸市城下のショールーム「dolphin」は一般の方向けの店舗(BtoC)。住宅リフォームやカーポート、物置設置の相談を受けたり、雑貨などの販売をしたりしています。

取材した人 山下俊幸さん 勤続32年 加藤伸子さん 勤続27年



山下さんは三戸町出身。建材課に所属し、太陽光発電アドバイザーや木造ハウジングコーディネーターとして見積もりや積算をしています。加藤さんは野辺地町出身で、鉄鋼課鉄鋼アシスタントグループに所属し、営業サポート、電話対応、見積もり、資料作成、発注業務を担当しています。

company profile :



業種 建築資材の専門商社
設立 1948(昭和23)年
住所 八戸市廿三日町2(本店)



取材してみても 八戸聖ウルスラ学院高等学校 team: 箱入り息子 工藤那月・坂下啓仁・谷川翔大・頭久保幸太郎



坂下啓仁: 吉田産業さん取材してみても、行事の協力や、他の企業との連携から、地域との強いつながりがわかった。置かれている資材の多さや、資材を加工する大規模な機械が印象的だった。加工されて資材が私たちが訪問したサンデーさんに送られていることを知ることができ、地域の企業との協力が見られた。

頭久保幸太郎: 取材するために倉庫や工場などを見学させていただきましたが、何よりも倉庫でもどこでも整理されていて在庫も分かりやすくなっていました。整頓されている状態を続けることは大変です。そのため丁寧に仕事と向き合っているのだと感じました。私も見習いたいです。

工藤那月: 今回吉田産業さんを訪ねてみて、建材や建築、土木などで建設会社や工務店だけでなく「DOLPHIN」によって地域とも深く関連していることがわかった。また、食品関係やアウトドア関係にも精通していることも理解できた。



住まいに関わる多様な商品展開 社会貢献活動にも携わる

株式会社サンデー

企業理念「我々は常にチャレンジし、住まいと暮らしをより快適にするサービスと商品を提供し、地域の発展に貢献する」の下、東北一円で「住」に関わる多様な商品を取り扱っています。八戸市内では5店舗を運営。また、消費者のニーズを深掘りするために、ペット専門店「Zoomore」や、100円ショップ「ダイソー」、カーショップ「GATERA」、プロショップ「DayPRO」などの専門店も展開しています。

取材した人 竹田有希さん 勤続9年・山口菜さん 勤続6年
鶴岡飛翔さん 勤続2年



竹田さんは弘前市出身。人材教育部で、採用活動や評価関連業務、社内相談窓口の担当をしています。山口さんは南部町出身。総務部で社会貢献活動のサポートや店舗のサポート、安全衛生管理、出張旅費の精算などを担当しています。鶴岡さんは八戸市出身。サンデー八戸長苗代店で、園芸用品やエクステリア用品(砂や脚立)の販売を担当しています。

company profile :



業種 ホームセンター
設立 1975年
住所 八戸市根城6丁目22-10



企業の魅力

Q. 業務と地域住民とのつながりは？

A. 竹田さん サンデーと専門店を連携させることによって、お客さんのニーズに深く関わります。また、「SUN急便」は、購入した商品を軽トラックで届けたり、ドアノブ交換や水漏れ補修など、顧客の家に直接行って住まいの困り事に対応したりしています。一方で、南部菱刺しのペット首輪など地産地消

商品の開発もしました。また、各市町村との高齢者の見守り協定、災害時の物資供給協定を結び、地域密着型企業として事業を展開しています。

Q. この会社を選んだ理由は？

A. 山口さん 接客の仕事をしたという思いがありました。高校生の時、サンデーの募集要項を見て、地域に寄り添った活動に引かれて入社しました。生活に関わる幅広い商品を取り扱うことができますし、幅広い年代の人たちと触れ合うことができるのも魅力です。

A. 鶴岡さん 名久井農業高校での学びを通して、園芸の仕事がしたいと思っていました。他にも候補の企業はありましたが、先生と相談し、働きやすく、地域と密着している企業ということで、サンデーで働くことに決めました。



八戸の魅力

Q. 八戸で住みやすいと思うポイントは？

A. 山口さん 八戸市には、ボランティアで清掃活動をする企業・団体でつくる「はちのへクリーンパートナー」制度があり、定期的にごみ拾いをしているので、街がきれいだと感じています。当社も参加しています。

A. 鶴岡さん 子どもの医療費の助成が手厚いですし、病児保育などのサポート体制が充実しているのに加えて、子育てアプリの配信などもあるので安心して子育てをすることができます。また、保健師、助産師など専門職の方による相談体制が充実しています。豊かな自然の中で子育てができるのも魅力的です。

Q. 「八戸はこうなればもっと魅力的になる」と思うことは？

A. 山口さん 中心街やその周辺に、アミューズメントパークや設備の整ったきれいな公園など、人を集められる施設を増やしてほしいです。映画館は特に必要だと思います。そういう楽しめる施設があれば、若い世代が都会に出ないと思います。

A. 鶴岡さん 八戸は農業が盛んな町だと思います。花を植えるなど彩りを増やして美しさを付け加えることによって、防犯にもなるし、寂しさを感じさせない、明るい街になると思います。

取材してみた 八戸聖ウルスラ学院高等学校 team: 箱入り息子 工藤那月・坂下啓仁・谷川翔大・頭久保幸太郎



坂下啓仁: 専門店との連携で消費者のニーズに応えていることや、トラックでの対応など地域の暮らしとの密着の強さを感じられた。また、店舗内の作りもお客さんを第一に考えた仕組みだと思った。サンデーさんがボランティア活動していることを初めて知ったし、地域の高校と協力しているのに驚いた。これからサンデーさんを利用する際は、地域とのつながりを見つけていきたい。

頭久保幸太郎: サンデーでは数多の驚きがありました。まず工作室という木材の加工などができる場所が開放されていることです。そしてそれは従業員の方も使用でき、自分の担当の売り場に新しくコーナーを作ったり出来るそうです。自分で作った売り場というのは逆転の発想で驚きました。

工藤那月: 今回サンデーさんを訪問してみて、企業理念の下様々な事業を展開されていて、店舗が身近にあっても知らなかったことが大量にあることがわかった。SUN急便や八戸グリーンパートナー制度等によって地域と様々な角度から密着に関わっていることを知った。



物流を通して地域に貢献 食材や生活雑貨 北東北中心に配送

株式会社共同物流サービス

「納品精度99.999%（ファイブナイン）」をモットーに掲げ、保管・流通加工・配送を行っています。従業員数は827人。食品スーパー、ホームセンターなどの商品を主に北東北3県へ届けています。八戸市を中心に9カ所の物流拠点を有し、各温度帯（ドライ、チルド・冷凍）に対応。膨大な発注データを基にミスなく商品の保管・仕分けを行うために最新機器やICT技術を駆使。各協力会社との連携によって多種多様な商品を取り扱っています。

取材した人

岡本大治さん 勤続18年 大高聖哉さん 勤続5年
山田勇太郎さん 勤続17年



岡本さんは八戸市出身。食品スーパー向けの商品の仕分けをするグローサリー物流課に所属。大高さんは同市出身で同じくグローサリー物流課に所属。山田さんも同市出身。人事教育課で採用や人事・労務などの業務を担当しています。

company profile :



業種 運輸、物流業
設立 1972（昭和47）年
住所 八戸市卸センター1丁目13-1

企業の魅力

Q.会社にとって八戸に立地したメリットは？

A. 岡本さん 共同物流サービスは八戸市内はもちろん、青森県内全域、岩手県北部にもたくさんの商品を運んでいます。その観点から見ると、八戸市は青森県内にありますが、弘前市などの津軽地方や隣県の岩手県北部まで100km圏内に位置しており、青森、岩手両県へ無駄な時間とコストをかけず効率的に物を運ぶことが可能です。そのため、本社が八戸市にあることがメリットになっています。



Q.仕事でやりがいを感じるのはどんな時？

A. 大高さん 季節の変わり目などは業務が忙しくなります。そんな時でも、一緒に働いている人たちとたくさんコミュニケーションを取ることが大事だと思っています。指示を出してみながら協力し、うまくできた時に達成感を感じます。
A. 岡本さん 従業員の笑顔を見ることがやりがいです。作業している場所は、とても歴史がある建物でエアコンが無いところもあります。ですが、従業員が少しでも快適に作業できるように、さまざまな暑さ対策をしています。一緒に働いている仲間に「ありがとう」と言ってもらえると、やっていて良かったなと思います。

八戸の魅力

Q.八戸で住みやすいと思うポイントは？

A. 山田さん 津軽地方と比べると、八戸市は「やませ」によって夏は涼しかったり、冬は雪の量が少なかったりと、とても住みやすい気候です。また、工業都市で他の地方都市と比較して求人も多く、就労しやすい環境であると思います。最近では、新型コロナウイルス禍による失業も少なかったようです。

Q.八戸のお気に入りスポットは？

A. 山田さん 種差海岸です。作家の司馬遼太郎も「どこかの天体から人がきて地球の美しさを教えてやらねばならない羽目になったとき、一番にこの種差海岸に案内してやろうとおもったりした。」と著書に書いてしまうくらい、一面に広がる海のきれいな青と天然芝生地の緑のコントラストがとても美しいです。青森県が誇れるスポットだなと思います。



取材してみた 八戸聖ウルスラ学院高等学校 team：バイキンマン 門前志野・岡山風沙・大國亜実・川下凛乃



門前志野：HOCは何の意味だろう？から始まり、スーパーやホームセンターなどを支えている会社だと知り驚きました。運ぶ物の把握や管理を徹底するために納品制度99.999%のファイブナインを大事にしていることも印象深いです。

岡山風沙：大規模な物流システムがあることで、生活が成り立っているのだと感じました。多くの方の努力があって、商品がお方に並んだり私たちの元に届いたりするので、デジタル化が進む中でも欠かせないものだと思います。

大國亜実：私たちの生活に欠かせない多くの商品を最新機器を駆使しながら丁寧に配送しており、感謝の気持ちでいっぱいです。従業員の皆さんや各会社と協力しながら仕事をしていることは素敵だなと思いました。

川下凛乃：普段は見ることができない場面を見られました。たくさんの苦労がある中で正確な仕事をこなしていることが印象に残りました。また、九つの物流拠点があることが分かりました。取材を受けてくださりありがとうございました。



合言葉は「お客さまと共に」 若手も活躍 情報システム構築・運用をサポート

株式会社アイティークレスト

システム提案・開発・保守をメインに行っている会社です。お客さまが抱える課題を「見える化」し、その解決に向け情報システム・システム改善案を提供しています。情報システム開発、受託計算サービス、システム保守・運用、パッケージソフト販売、機器販売によって幅広い形で人々の生活を支えています。合言葉は「お客さまと共に」。得意分野、強みは物流系システムですが、様々な分野のシステム開発も担っています。

取材した人 志村駿太郎さん 勤続2年目 長沢来美圭さん 勤続2年目



志村さんは八戸市出身。IT系の専門学校を卒業後、入社。システム開発課に配属され在庫管理システムを構築しています。長沢さんは十和田市出身。工業系の高校を卒業後、システム開発課に配属され契約書管理システムを構築しています。

company profile :



業種 IT関連・情報サービス業
設立 1982(昭和57)年
住所 八戸市卸センター2-5-11



企業の魅力

Q. 企業のどんなところが魅力的だと思った？

A.長沢さん 私は十和田市出身で地元に近いので、地元の友達に会えることがうれしいです。また、会社の建物が新しく、きれいなところも気に入っています。私は高校でプログラミングを学んでいたため、この仕事なら生かせるのではないかと考えたので、魅力を感じました。

A.志村さん 私は専門学校に通っていました。学校で学んだことを生かせるので興味を持ちました。また、年末年始やゴールデンウィークもローテーションで休むことができ、有休も計画的に取りやすいので、職場環境の面でも良い会社だと思いました。

Q. 入社して良かったと思う点は？

A.長沢さん 高校で情報系について学んでいましたが、就職してからの最初の3カ月間は基礎からしっかりと教育してもらいました。仕事内容や基礎知識をより詳しく知ることができたので、とても良かったと思っています。

A.志村さん 八戸の企業なので地元と関わることができるし、実家から近いので、さまざまな面で便利だと感じています。また、会社ではプロジェクトごとに机の配置が変わるので、先輩や同期に関わらず、多くの人とコミュニケーションを取ることができます。

Q. 仕事でやりがいを感じたのはどんな時？

A.長沢さん 新しいシステムのマニュアルなどを製作した際、お客さまに「わかりやすい」と言ってもらえると、やりがいを感じます。失敗することもあります。お客さまの希望に寄り添えるよう、丁寧に仕事をしていきたいと思っています。

A.志村さん 依頼された通りに仕事を進められた時にやりがいを感じます。今まで大きなミスはあまりありませんが、小さなミスでもその後の仕事に影響が出てしまうので、気を付けてながら働いています。



八戸の魅力

Q. 八戸で住みやすいと思うポイントは？

A.志村さん 交通の便が良いところです。東京に乗り換えなしで行くことのできる東北新幹線が通っていたり、三沢空港が近かったりと八戸市は交通の便が優れていると思います。

A.長沢さん 自然が豊かなところです。特に海が綺麗で素敵だと思いました。また、美しい星空や流星群を見られるのも魅力です。

Q. 八戸のお気に入りのスポットは？

A.志村さん 白浜海水浴場がお気に入りです。八戸市内で最大規模の海水浴場で、海水浴シーズンには海の家もオープンしてにぎわっています。

A.長沢さん 種差海岸の葦毛崎展望台は景色が良く、太平洋を見渡すことができます。近くには「ホロンバイル」というお店があり、そこのソフトクリームは絶品です。

取材してみた 八戸聖ウルスラ学院高等学校 team: バイキンマン 門前志野・岡山風沙・大國亜実・川下凛乃



大國亜実: アイティークレストでは、さまざまな情報システムを開発しており、特に共同物流サービスとの関わりが深いと知りました。お客さまを大切に、若手も活躍しているところが魅力だと感じました。

門前志野: 生活に必要な情報システムのすばさを知りました。共同物流サービスと連携してロボットを作ったり在庫確認したりと、人が補いられない部分に活用されていて興味深かったです。お客さまに寄り添う社員さんの姿勢もすばしかったです。

岡山風沙: きれいなオフィスと優しい社員の方々を見て素敵な職場だなと思いました。パソコンと向かっての作業は大変なことも多いと思いますが、常にお客さんのことを考えられているのだと感じることができました。

川下凛乃: お客さまに親身になって課題に適したシステムを提供していること、うまくいかない時は社員が協力しながらシステムを作っていることが印象に残りました。私たちの取材を快く受け入れてくださり、ありがとうございました。



八戸から全国の食卓へ 外国人実習生も活躍

株式会社ハチカン

常温・冷凍食品、水産缶詰、びん詰等を製造。ニッスイグループの国内主要工場の一つとして2004年に設立。08年には冷凍食品の生産拡大を図るための拠点として、ニッスイグループ最大級の冷凍食品工場を新設しました。環境にも優しく、安全・安心を第一に、高品質な冷凍食品・常温食品を全国に届けています。従業員712人(2023年1月現在)で会社を支えています。

取材した人 田村翔太さん 勤続11年 鈴木海結さん 勤続3年



田村さんは八戸市出身。品質管理課で働いています。お客さまに褒められた時にやりがいを感じるそうです。鈴木海結さんは青森市出身。同じく品質管理課に勤務しています。従業員から要求された課題を改善できた時に仕事のやりがいを感じるそうです。

company profile :



業種 食料品製造業
設立 2004(平成16)年
住所 八戸市市川町下揚45-44

企業の魅力

Q. 仕事でやりがいを感じるのはどんなとき？

A. 田村さん お客さまから相談を受けて改善策を考えたり、それを実行して品質が向上したりすると、やっていて良かったと思えます。

A. 鈴木さん 品質管理課にいます。工場全体を巡回することがあります。普段はあまり関わらない課にいる人ともコミュニケーションを取れて、とても楽しいです。また、こうした方が良いと提案したことなどを、実際に実践してくれているを見た時、素直にうれしいと感じます。

Q. 外国人実習生がいるメリットは？

田村さん 以前、会社の企画で社員とパーティーをする機会がありました。その時に、実習生の出身地の料理を食べることができました。他国の料理を本場の味で食べることはあまりできないので、とても楽しい経験になりました。

A. 鈴木さん 実習生にモンゴル出身の方がいます。モンゴルでは相撲が盛んだそうで、パーティーでモンゴルの方同士で相撲を取っていました。日本に居ながら異国の文化を直接

八戸の魅力

Q. 八戸で住みやすいと思うポイントは？

A. 田村さん 交通機関が充実している点です。八戸駅があるため新幹線や電車でいろいろなところに行くことができるので助かっています。

A. 鈴木さん 私は青森市出身で、冬は屋根の雪下ろしや雪かきなどが大変でした。八戸市は雪があまり積もらないし、天気が良くて晴れの日も多いので過ごしやすい気候だと思います。

見て触れることができ、とても印象に残りました。

Q. 八戸地域の住民とどのように関わっている？

A. 労務課 山田淳一さん ハチカンは「ニッスイ」の子会社で全国展開をしています。ここで作られた商品は、1度ニッスイに運ばれてから全国で販売されています。八戸工場では冷凍食品やグラタンなどを製造し、主にスーパーに並びます。いくつかの商品はコンビニでも売られています。業務用も作っていて、学校給食や居酒屋などにも提供しています。八戸地域の住民の方々もハチカンの商品を食べてくれていますし、全国各地の方々とも食品を通して関わっている大きな会社です。



Q. 「八戸はこうなればもっと魅力的になる」と思うことは？

A. 田村さん 子どもと一緒に遊べる場所がほしいです。水族館や動物園、映画館など地元の人だけでなく観光客も楽しめる場所があれば八戸はもっと盛り上がると思います。

A. 鈴木さん ライブ会場を建設したり、スポーツ選手が来る機会を増やしたりするなどエンターテインメントに力を入れてほしいです。そうすれば八戸の魅力がより伝わると思います。



取材してみた 八戸聖ウルスラ学院高等学校 team: バイキンマン 門前志野・岡山風沙・大國亜実・川下凛乃



大國亜実: ハチカンさんの商品はよくスーパーなどで見かける物が多く、たくさんの機械を使用して効率的に商品を製造しているということが分かりました。商品を通して全国と関わりがあることは誇らしいなと思いました。

門前志野: ハチカンさんの冷凍食品を食べる機会はありませんでしたが、普段は知ることのできない裏側まで知るととても良い経験になりました。私たちが安心して食べられるように食材を丁寧に手作業で扱うなど、作る人の気持ちも知れたと思います。

岡山風沙: よくスーパーなどで見る冷凍食品の製造裏を見て、とても貴重な時間を過ごすことができました。勤務時間以外でも交流が多いということをお聞きして、働きやすい環境づくりも進められているのだと感じました。

川下凛乃: スーパーなどで簡単に手に取ることができる冷凍食品や缶詰食品ですが、厳重な衛生管理、品質管理がされているからこそ、私たちが安心して食べられるのだと思います。取材を快く受け入れてくださりありがとうございました。



地域の強み生かして暮らしを豊かに 文具・書籍中心に業種超えて事業展開

株式会社金入

八戸市中心街で文具書店として創業。現在は文具や工芸品、デザイン雑貨などを販売する店舗を東北地方各地に展開するほか、事務機器・事務用品・コンピューターの販売、メンテナンス、ソフトウェア開発、医療・介護・福祉ソリューションの提案など幅広い分野に進出。「地域の『働く』と『暮らす』をゆたかにする」をモットーに仕事に取り組んでいます。取引社数は2622社、従業員数は169人（2022年8月末時点）。

取材した人 金入健雄さん 代表取締役社長



八戸市出身。早稲田大学卒業後、都内の老舗文具店に勤務。家業を継ぐため帰省し、2008年に金入へ入社しました。13年から現職。社長として会社の方向性やビジョンの決定、財務管理などを担っています。

company profile :



業種 小売業、卸売業
設立 1961(昭和36)年
住所 八戸市卸センター2-4-12 (本社)

企業の魅力

Q. 仕事のやりがいを感じるのとはどんな時？

A. 自分たちが作ったものが認められた時です。商品がどのようにお客さまの役に立つか考えて販売し、うれしい意見をいただいたり、実際に使っているのを見たりした時にやりがいを感じます。また、地域の魅力を伝えられた時もやりがいがあります。企業は他社と違うことをして、差別化を図らないと稼げません。競争が激しい時代ですが、この地域にしかないものを生かすことが自分たちの強みになると考えています。

Q. 業務の面白いところは？

A. 経営者の役割は未来の仕事を作り出すことだと思っています。地域の暮らし方や働き方を考え、提案していけるのが魅力です。また、地方で働くと、何かプロジェクトをやりたい

と思った時に、都会よりチャンスが巡ってくる回数が多いと感じます。地域で活動していると、必ず見てくれている人がいます。自分たちのやることに責任は伴いますが、そこが地元で働く面白さでもあると思います。

Q. 八戸に会社があるメリットは？

A. 海、山があり、自然豊かなところが魅力の一つですね。新幹線駅があり、都心部へのアクセスも良く、バランスの取れた規模の都市だと思っています。また、人柄が良く、新しい物を受け入れる市民性があると思います。私たちが新商品を出した時に受け入れてもらえるとうれしく、八戸の企業で良かったなと感じます。このエリアにしかない文化をこれからも生かし、みんながチャレンジしていくまちであってほしいと思います。



八戸の魅力

Q. 八戸で住みやすいと思うポイントは？

A. 八戸は港町でサバやイカなどの海の幸が豊富。私も魚介類が好きなので、住んでいて良かったと思うポイントです。気候が良い点も好きです。特に、冬は青森県内でも津軽方面に比べて雪が少なく、日照時間も比較的長いところは長所だと思います。

Q. 八戸のお気に入りスポットは？

A. 1つ目は「洋酒喫茶プリンス」というバー。地元の面白い人が集まっていて、県外の人にレトロな雰囲気喜ばれます。2つ目はたくさんの本との出会いがある「八戸ブックセンター」です。3つ目は映画上映や本の紹介をしているブックカフェ&バー「アンドボックス」です。



取材してみた 青森県立八戸東高等学校 team: さなぎ 秋山侑輝・鈴木球愛進・川守田桂寿



鈴木球愛進: 日常的に関わることが多い企業ですが、これまで業務内容はよく知りませんでした。しかし、今回の取材で様々なサービスや商品を取り扱い、地域に貢献していることが分かりました。八戸に深く関わっている企業なので、これからもよく調べたいです。

川守田桂寿さん: 初めは文房具を中心に販売する企業のイメージが強かったです。しかし、書籍や工芸品、印刷機なども売っていることが分かりました。街中にあるお店では、文房具や本の販売だけでなく、タマゴサンドが名物のカフェも経営していることが分かったので行ってみたいですね。

秋山侑輝さん: 金入によって支えられている企業がたくさんあり、地域にとって、とても大切な会社だと思いました。中心街のお店には昔から行って、文房具を扱っている会社だと思っていましたが、実際は本や印刷機など、文房具以外の物も売っていることを教えていただき驚きました。



電気の安定供給支えて社会に貢献 「和」の精神 明るい職場環境が自慢

北辰工業株式会社

発電プラントの安定運転を支えるため、創業以来50年以上にわたって発電機・原子力関連設備のメンテナンス業務を担っています。その他、各種産業設備の調査・製作・据付・施工、建築一式工事、鋼構造物の製作・据付・施工、電気・制御・計装工事、産業廃棄物等処理プラントの設計・製作・据付、各種鋼材の曲げ加工も行います。八戸市に本社と工場があり、青森県内や秋田県、山形県、神奈川県に営業所を置いています。従業員数は333人。

取材した人 田島崇光さん 勤続15年 板橋孝治さん 勤続38年



田島さんは八戸市出身。専務取締役を務め、会社経営に関することから、総務、労務などを担っています。板橋さんは八戸市出身。38年勤務しており、技術営業部長として生産管理、技術指導をしています。

company profile :



業種 建築工事業、製造業
設立 1964 (昭和39)年
住所 八戸市石堂4丁目15-8

企業の魅力

Q.仕事のやりがいを感じる時は？

A. 田島さん 私たちは、社会生活に欠かせない電気を生み出す火力・水力発電所や原子力発電所などのメンテナンス業務をしています。自分たちの仕事が地元である八戸のライフラインに関わっていると実感した時にやりがいを感じます。
A. 板橋さん 自分たちが造った設備が使われているのを見ると、やりがいや達成感を感じます。業務を進める上では、社員同士のコミュニケーションを大事にしています。毎年、お盆前や年末には普段は県内外の現場で働いている社員が集まり、バーベキューをして絆を深めています。

Q.現在の担当業務の面白いところは？

A. 板橋さん 仕事で山間部に行くことがあります。山で仕事を

していると、雄大な自然を肌身で間近に感じられることが魅力ですね。たまに熊などの食材を食べられることもあります。
A. 田島さん 専務として様々な職務に関わる中で、色々な人の個性や特徴が見えた時に面白く感じます。昔からシミュレーションをすることが好きでした。経営は大きな責任を伴いますが、会社の方向性を考えて判断し、良い方向に向かうとやりがいを感じます。

Q.この仕事を選んだ理由は？

A. 板橋さん 大きな建物や橋など、自分たちの仕事が建造物として徐々に形になり、完成することに感動を覚えたからですね。さらに良いものを造るために技術を身に付けたいと考え、仕事にのめり込んでいきました。



八戸の魅力

Q.八戸で住みやすいと思うポイントは？

A. 板橋さん 自然環境や気候に恵まれているところです。夏は東京に比べると気温が低く、本州最北端の青森県にありますが、冬は比較的雪が少ないです。自然環境、気候は人が変えられるものではないので、他にはない魅力だと思っています。

Q.「八戸はこうなればもっと魅力的になる」と思うことは？

A. 田島さん 遊べる場所を増やすことです。映画館など次々に若い人が楽しめる場所が減っているので、人が流出し、人口が大きく減少しています。北辰工業は八戸を盛り上げるため、八戸駅の西側に「トランポリンパーク」を建設します。老若男女が楽しんでくれば良いなと思っています。



取材してみた 青森県立八戸東高等学校 team: さなぎ 秋山侑輝・鈴木球愛進・川守田桂寿



秋山侑輝さん：やりがいや楽しさがたくさんある素晴らしい企業だと思いました。行く前は大変で辛い仕事なのかなと考えていたけど、実際に見たり聞いたりすると、この企業に勤めたいと思うほど楽しそうでした。トランポリンの制作も進めていることを聞いてすごかったです。

鈴木球愛進さん：とても魅力的な企業だと感じました。仕事では安全第一で皆さん黙々とやっているのに、業務が終わると社員の皆さんの仲が良くとても働きやすい会社だなと思いました。また、八戸市内だけでなく、様々な施設の建設に関わっていて感服しました。

川守田桂寿さん：仕事をする時は真面目に協力して取り組み、昼食の時は仲間と楽しそうにしている、とても明るいイメージでした。加工された鋼材が八戸駅の骨組みや橋の建設に使われていたり、仕事仲間とすることがすごかったです。



毎日の暮らしに欠かせない商品を 店舗と移動スーパーで販売

株式会社よこまち

八戸市を中心にスーパーマーケット7店舗、宝くじ・スポーツくじ売り場を9店舗運営しています。従業員数は497人。移動スーパー「とくし丸」は、移動手段がなく歩くのが困難なお客さまのために、販売パートナーが店舗から食料品、日用品を車に積んで自宅に向かい、好みの商品を購入してもらうシステムです。

取材した人 尾崎淳さん 勤続33年



八戸市出身。管理部に所属し、人事・労務業務、経理・財務業務、宝くじ・スポーツくじ業務、安全運転管理者としての車輛運行管理業務が主な担当業務で、趣味は映画鑑賞とバスケットボール。

company profile :



業種 スーパーマーケット運営
創業 1903 (明治36)年
住所 八戸市尻内町八百刈39-3

企業の魅力

Q. 地域住民とどのように関わっている？

A. 食料品や日用品など、お客さまの毎日の暮らしのために必要な商品を、良い状態で適正な価格で提供するのがスーパーマーケットの役割です。当社のポイントカード「こまちカード」の会員数は現在約8万人いて、地域住民の4人に1人は持っている計算です。また、ハチカン、プライフーズ、宝幸など、地元で頑張る企業の商品を積極的に取り扱っています。夫婦共稼ぎ世帯の増加などにより、総菜の売れ行きは上昇傾向です。一番町店には「支援自動販売機」を設置し、売り上げの一部を日本財団や地元サッカーチーム「ヴァンラーレ八戸FC」に寄付しています。

Q. 八戸に立地したメリットは？

A. 当社は1903年に八戸市大工町にて創業しました。2店舗目、3店舗目と店舗数を増やし、93年に現在の一番町店を開店し、隣に本社を移しました。そして2023年5月に120周年を迎えました。当社が八戸に立地したメリットは、第一次産業、第二次産業、第三次産業がどれも栄えていて、産業のバラ

八戸の魅力

Q. 八戸で住みやすいと思うポイントは？

A. 八戸にはさまざまな業種のお店がたくさんあり、いろいろなところで買い物ができるので、買い物に困ることがないのがいいですね。また、日照時間が長く、積雪が少ないので店舗に設置しているソーラーパネルで集められる電気量も多いです。また、多業種が集まる八戸にはたくさんの職場があり、仕事を見つけやすいと思います。

ンスがとても良いということです。それにより、企業と企業のつながりが深くなり、連携した取り組みが可能になります。

Q. やりがいを感じる時は？

A. 私は、社員が抱える悩みや問題に対し、カウンセリングやアドバイスを通してサポートをする産業カウンセラーでもあります。その業務の中でやりがいを感じる時は、相談者の悩みや問題を聴き容れ、話をすることで、問題の解消または問題解決に向けた前向きな気持ちになってもらえた時です。また、スーパーマーケットの運営をする上で、店の成長に欠かせないのが新商品の開発です。商品開発は難しいですが、成功した時は「やって良かった」と思います。



Q. 「八戸はこうなればもっと魅力的になる」と思うことは？

A. 八戸に映画館ができればいいと思います。私は映画が大好きで、映画からはさまざまなことを学びました。映画がきっかけでコミュニケーションの発展にもつながります。そのため八戸に映画館があるとより魅力的になると思いました。



取材してみた 八戸工業大学第二高等学校 team: 阿部ソジャーズ 加藤璃玖・阿部蒼大・戸田颯太



加藤璃玖さん：取材を通し、企業がどのように市民と関わっているのを知ることができた良い機会でした。よこまちさんはよこまちストアを通して住民と直接関わっている事が分かりました。

戸田颯太さん：私は取材する前、何となくの業務内容は知っていたつもりでしたが、自分が思っていたスーパー運営だけではなく、イベントなどを通して八戸の発展に尽力していることが分かりました。

阿部蒼大さん：食料品を販売する以外にも、地元のスポーツチームの応援や、八戸を盛り上げるためのイベントなど、地元と深く関わっていると知り驚きました。また、尾崎さんの「出会いからアイデアに」という言葉が心に残っています。



身近な施設のLEDランプ製造 市民の生活を支える工場

桜総業株式会社 青森工場

国内4工場(横浜、白河、青森、岡山)、海外2工場(深圳、江西)で、電子機器の製造をしています。従業員数は275人。青森工場では、さまざまな電子機器の脳や心臓の役割をする基板や、血管や神経の役割をするワイヤーハーネス、調光可能なLEDランプの組み立てを行っています。また、コロナ禍がきっかけで、コンパクトで軽い空気循環型UV除菌機「CUBE-C」も開発しました。

取材した人

中村実さん 勤続36年 栗山幸子さん 勤続20年
有原信一さん 勤続18年



中村さんは八戸市出身で、青森工場の総責任者である工場長です。栗山さんは南部町出身。資材を発注したり、在庫管理をしたりする購買資材係の責任者です。有原さんは八戸市出身。所属は品質管理課で、青森工場で作られた全製品の管理が主な担当業務です。

company profile :



業種 電子機器製造業
設立 1961年
住所 八戸市北インター工業団地
2丁目3-25



企業の魅力

Q. 業務と地域住民とのつながりは？

A. 中村さん 桜総業の全工場の中で青森工場が最も従業員数が多く、たくさんの従業員を地元から雇用しています。製造したLEDランプを八食センターやユートリーなどに納めました。また、八戸市からの依頼で、歩道橋のLEDの設置なども担当しています。地域の住民の方と直接的には関わっていませんが、皆さんが使う施設や設備に当社の製品が使われていて、間接的に地域の皆さんとつながっています。

Q. 八戸に立地したメリットは？

A. 中村さん 桜総業の本社は神奈川県横浜で、青森工場は本社工場よりも規模の大きい主力の工場です。八戸市に立地したメリットは、人口が多く、交通アクセスがとても良いということです。八戸には新幹線が通っていますし、近隣には三沢空港があるため、新幹線や飛行機を利用し、スムーズな物流が可能になります。

Q. 仕事でやりがいを感じる時は？

A. 栗山さん 私は取引先との連携を図りながら、製品の生産に必要な資材、部品の発注や購入をする資材購買を担当しています。毎月6000~7000万円のお金が動くのを体感できるのが、今の担当業務の面白いところです。そして取引先とやりとりをする中で信頼関係ができ、「栗山さんのためなら」と、入手困難品を探してくれたり、価格に協力していただいたり、利益に貢献できたと思えた時に、やりがいを感じます。



八戸の魅力

Q. 八戸で住みやすいと思うポイントは？

A. 有原さん 自然環境、買い物、仕事の3つあり、自然環境は、海や山がどちらも近いという点ですね。また、買い物はスーパーや、ショッピングモール、コンビニが適度にあり、生活に困らないです。そして八戸には高速道路の入口もあり、新幹線もあり、近くには空港もあるので仕事にハンデが少ないという点では、とても住みやすいと感じますね。

Q. 「八戸はこうなればもっと魅力的になる」と思うことは？

A. 有原さん 八戸は公共交通機関は整っているとは言っても、やはり本数が少ないというところが少し不便です。そのため交通機関が発達すればさらに八戸市が良くなると思います。また、八戸三社大祭をもう少し大々的にアピール、青森と言えば「ねぶた祭り」だけでなく「三社大祭」ともなれば、もっと八戸市が活性化すると思います。

取材してみた 八戸工業大学第二高等学校 team: 阿部ソジャーズ 加藤璃玖・阿部蒼大・戸田颯太

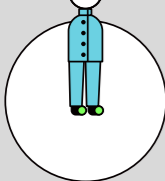


加藤璃玖さん: 桜総業は電子機器や建物内のLEDランプを通して、私たちの間接的に関わっていることが分かりました。私も1人の八戸市民として多くの企業に感謝しながら生活していこうと思います。

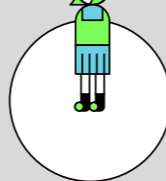
阿部蒼大さん: 最初は、LEDの基板の製造と聞き、あまり想像が付きませんでした。実際に取材に行ってみると、自分の生活に直接的には無いですが、商業施設のLEDなど、間接的に関わっていると知り、意外と身近に感じ驚きました。

戸田颯太さん: 取材前は業務内容にピンと来ませんでした。取材すると自分の身近にも桜総業のLEDや部品が使われていて驚きました。この取材を通して、多くの企業の活動によって市民生活が成り立っていることを知りました。

活動紹介



チャームエイトは7月のキックオフミーティングを皮切りに本格スタートしました。高校生は勉強会を通じて取材の仕方を学んだ後、グループに分かれて調査活動を展開。8月には企業を訪問し、各事業所や地域の魅力を探りました。その後、取材レポートを基に記事を仕立て、1冊のe-bookが完成。1月には半年以上にわたる取り組みの集大成となる成果発表会があります。



2023.7.24.mon

事前勉強会

事業の内容や目的を確認し、自己紹介で互いに理解を深めました。地域活性化教育支援ネットワークの長谷川さんを講師に迎えて取材する地域の産業を学び、キックオフミーティングに備えました。



2023.7.25.tue

キックオフミーティング

本格的な調査がスタート。訪問企業の担当者と顔を合わせました。まずは事業の目的や流れを確認し、ゴールを共有。最初は緊張していましたが、企業の方が丁寧に説明してくださり、事業内容に理解を深めることができました。



2023.8.4.fri

魅力調査活動に向けた勉強会①

調査をスムーズに進めるため、新聞社のライターやプロのカメラマンの話听取了。グループワークを通して取材の心構えや話を聞き出すポイント、写真の撮り方を学習。調査の流れなども確認しました。



2023.8.7.mon

魅力調査活動に向けた勉強会②

グループの仲間同士で取材し合い、文章にまとめる練習をして一人ずつ発表しました。さらに、各企業へ質問したい内容を整理しました。次はいよいよ本番。準備は万端です！



2023.8.8.tue-8.21.mon

企業・暮らしの魅力調査活動

いよいよ調査活動。元気なあいさつで緊張を吹き飛ばし、取材を行いました。各企業の若手からベテランまで、幅広い年台の方々にインタビュー。写真撮影や取材にも徐々に慣れ、高校生の視点で各企業の魅力を探りました。



2023.12.26.tue

成果発表会ミーティング

プロジェクトの集大成となる成果発表会に向けて、活動発表の内容についてフリーライターの栗本さんからアドバイスを頂きました。スライドの見せ方などの工夫について学んだので、より魅力的な発信ができそうです！

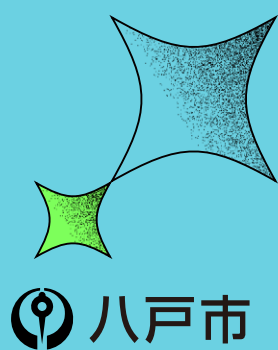


2023.12.26.tue

成果発表会

成果発表会当日！第一部では緊張しながらも今まで調査した企業と地域の魅力を頑張って発表出来ました！第二部ではUターン経験者の3名から地元の魅力と働きやすさについて伺いました。地元で働くこと、地域の魅力により気付くことが出来た気がします！





高校生による地元企業魅力発見体験事業

八戸市商工労働まちづくり部 産業労政課